

農業用水再編対策事業 天の川沿岸地区

あまのがわえんがん

地区概要

所在地: 米原市
 主要工事: 揚水機場更新 3ヶ所
 井堰更新 2ヶ所
 用水路更新 11.3 km
 排水路更新 10.4km
 総事業費: 2,095 百万円
 工期: 平成11年度～平成21年度

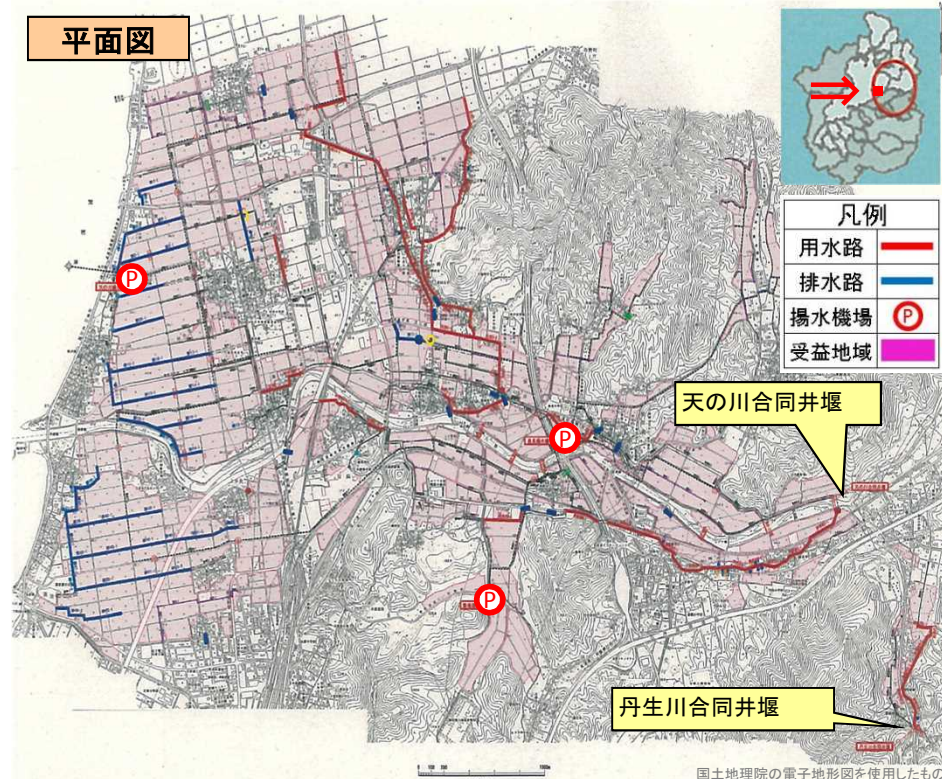
事業目的

本地区は、主要水利施設の老朽化に伴う送水ロス、および維持管理のための労力の負担増加等の諸問題が顕在化し、適切な送水管理が困難になりつつある中、地区における水の在り方を見つめ直す機運が生まれ、地域用水機能への期待が高まっていた。

本事業では、これらを解消するため、**水利用および農業経営の合理化・効率化および地域用水機能※の増進**を図った。

※農業用水が有する生活用水、防火用水、景観保全などの機能

平面図



事業の効果



揚水機場

← 息長、番場の揚水機場の操作を天の川揚水機場で集中操作できるようになった。
 ・分水工に圧力計を設置し、きめ細やかな管理が可能となった。



洗い場の改修

← 洗い場等を整備したことにより、地域住民に便利になったと喜ばれている。
 ・老朽化した水路の更新をした。特に三面張り水路については、特殊モルタルを吹き付ける工法も採用し経費の削減に努めた。



井堰土砂吐ゲートの改修

→ 老朽化した水路の更新をした。集落周辺では、景観や生態系に配慮した工法を採用し、子どもたちの観察会の場となるなど、住民に一層親しまれる施設となっている。
 ・水路沿いに管理道路を設けたことにより、維持管理がしやすくなった。



親水性の高い水路への改修

→ 土地改良区の事務室で合同井堰の取水ゲート、土砂吐ゲートの開閉が出来るようになった。

受益者等の声

- ・施設の整備が出来たことで維持管理を地域ぐるみで出来るようになった。
- ・子どもたちにも親しめる施設となった。

今後の課題

農地集積や高齢化などで徐々に農家戸数が減少するなど、今後の土地改良施設の維持管理の負担が増大する傾向にある。農家だけでなく非農家も含めて施設を地域の財産(宝)として受け入れられるよう啓発していく必要がある。